

## 第 55 章 ソフトウェア工学の標準

### 「標準」のランクと内容

ソフトウェア工学の分野に限らず、一般に「標準」には厳然としたランクがある。そのランクを公式の権威の順、つまり高い方から示すと、以下のようになる。

- ① 国際規格
- ② 国内規格
- ③ 国際業界規格
- ④ 国内業界規格
- ⑤ 国内／国際民間規格
- ⑥ 実質標準

「国際規格」とは、ISO (International Organization for Standardization : 国際標準化機構) や IEC (International Electrotechnical Commission : 国際電気標準会議)、あるいは通信についての規格を決めている ITU-TS (International Telecommunication Union - Telecommunication Standardization sector : 国際電気通信連合・電気通信標準化セクタ) など、国際的に活動している標準化団体が決めた規格である。その出生から、この国際規格は規格の中では一番格式が高い。

しかし格式が高いからといって、この国際規格が広く世間に普及し、使われているとは限らない。例えば OSI (Open Systems Interconnection : 開放型システム間相互接続) という ISO が決めた通信のプロトコルがある。たいへん格調の高いものだが、今はほとんど使われてなくて、この分野は今やインターネットのプロトコルである TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)<sup>1</sup> の独壇場といっても良い。

「国内規格」とは、日本の JIS (Japanese Industrial Standard : 日本工業規格) 規格、アメリカの ANSI (American National Standard Institute : アメリカ規格協会) が決める規格、イギリスの BSI (British Standard Institute : 英国規格協会) が決める BS (British Standard) と呼ばれる規格などがある。

これらは ISO が決めた国際規格を国内に持ち帰って、例えば JIS の場合は日本化 (日本語化だけではない) して国内規格にしたものと、独自に決めた国内規格の二種類がある。独自に決めた国内規格のあるものは、その後 ISO の場などに持ち込んで国際規格に格上げされるものがある。例えば今 ISO の規格としてたいへん著名な ISO 9001 は、当初は BS 5750 というイギリスの国内規格だった。

「国際業界規格」とは、ソフトウェア工学の関係では、例えば OMG (Object Management Group)<sup>2</sup> という団体が決めた UML (Unified Modeling Language)<sup>3</sup> や CORBA (Common Object Request Broker Architecture) などがこれに相当する。前述の TCP/IP に関する規格などのインターネット関係の規格も、ここに位置づけされるものである。

「国内業界規格」に位置するものとしては、例えばアメリカの IEEE (Institute of Electric

<sup>1</sup> TCP/IP は、IETF (Internet Engineering Task Force) というインターネットに関する標準を決めている団体が決めた規格である。IETF は国際業界団体に位置づけされる団体であるから、TCP/IP は 3 つめのランクの「国際業界規格」に位置づけされる。

<sup>2</sup> オブジェクト指向技術の標準化、普及をすすめるため、1989 年に設立された業界団体。

<sup>3</sup> UML については、第 21 章で述べた。

and Electronic Engineers、普通「アイトリプルイー」と読む。「全米電気電子技術者協会」と呼ばれることがある）が決める規格などがある。IEEE は世界中に会員を持つとはいえアメリカ国内の学会であるから、ここで決められた規格はアメリカ国内の業界標準ということになる。しかし例えば IEEE の LAN (Local Area Network) の規格 (IEEE802.11、など) などは、実質国際規格並みに取り扱われている。

以前日本国内で VTR に VHS とベータと二種類の規格があつて、家電メーカを二分して激しく争ったことがある。この VHS やベータが「民間規格」に位置づけされるものである。その規格が国内規格か国際規格かということについては、この際あまり問題ではない。今の日本企業のみならず国内だけで規格団体を作ることはむしろ稀で、海外の企業まで巻き込んで国際規格の形になることが多い。この二社以上の民間企業の連携で、民間規格が生まれる。

最後の「実質標準」というのは、ある企業が独自に決めた規格である。このこと自体は、さほど大きな意味を持たない。しかしその企業が特定の分野で非常に大きな影響力を持つ場合、その規格に従わなければ実質的にある種の商品を作ることができない、といったことが起きる。メイン・フレームと呼ばれていた大型コンピュータについて、昔 IBM がこういうものをたくさん持っていた。今もマイクロソフトの規格に従わなければ、Windows の下で動くソフトウェアを作ることができないという事実がある。アップルと iPhone の間にも、このような関係がある。この IBM やマイクロソフト、アップルの規格のようなものを、実質標準と呼ぶ。

### ソフトウェアについての ISO の規格

ソフトウェアと、ISO 9001 などの「品質マネジメントシステム」、リスク管理に関わる ISO の現時点での規格などを取り出して一覧にしたものを、この章末の付 1 に示す。ここで品質マネジメントシステムを付 1 に加えたのは、ISO 9001 がソフトウェアプロセス改善に大きく関わっているためである<sup>4</sup>。リスク管理も、プロジェクト管理で同様に重要である<sup>5</sup>。

この中で規格コードの前に「TR」と表示されているものは「技術報告書 (Technical Report)」であつて、厳密な意味では「規格」ではない。

ISO の規格には、規格の番号の後にその規格が発行された年が表記されている。例えば、ISO 9001 : 2015 は 2015 年に発行された規格である。これを見ると、今有効な規格では 2000 年以前に発行されたものがあることが分かる。ISO は原則として、5 年に一度その規格を見直すことにしている。しかし現実には必ずしもそのスケジュール通りには規格の見直しが進まず、いまだに 1990 年代以前に発行された規格がそのまま残っているケースがある。しかし一言で表せば、ISO は少なくともソフトウェア工学や品質マネジメントシステムなどに関して、かなり熱心に新規の規格の設定や既存の規格の改定を進めているといえることができる。

ISO 規格の 1 つの特徴は、ソフトウェア工学に関わるものはある時期から IEC との共同の規格になっていることである。さらに最近の ISO の規格の中には、ISO/IEC 19759 (SWEBOK ガイド)<sup>6</sup>や ISO/IEC 20926 (IFPUG4.1 未修正機能サイズ測定法)<sup>7</sup>のように、これまで民間団体が作った基準を ISO の規格として取り込む動きが見られる。このような動きに伴って知的財産権に関わる問題の発生も予想されるが、それらを乗り越えてこのような領域の規格の拡

<sup>4</sup> ISO 9000 シリーズによるソフトウェアプロセス改善については、第 39 章で述べた。

<sup>5</sup> リスク管理については、第 51 章で述べた。

<sup>6</sup> SWEBOK については、第 4 章で述べた。

<sup>7</sup> ファンクションポイントについては、第 10 章で述べた。

充を望みたい。

ISO 規格の原本は、英語で書かれている。それでよければ我々は日本規格協会のホームページ (<http://www.jsa.or.jp/>) や、ISO のホームページ (<http://www.iso.org/iso/home/standards.htm>) から有償で入手することができる<sup>8</sup>。

付 1 にある「対応する JIS 規格」と「邦訳あり」の欄については、後の JIS 規格についての部分で取り上げて議論する。ISO 規格の日本語訳と JIS 規格の入手についても、併せてそこで紹介する。

### ソフトウェア工学に関わる IEEE の規格

ソフトウェア工学に関わる IEEE の規格を、この章末の付 2 に示す。

ISO の規格と同様、IEEE の規格も発行された年が規格コードの後ろに示されている。これを見て感じることは、ISO の場合と比較して、IEEE の規格にはかなり早く決められたものが多いということである。別のいい方をすると、IEEE は ISO より早い時期からソフトウェア工学に高い関心を持っていたといえる。

そしてその規格の内容やレベルも、ISO のものを上回っていることが多い。例えば IEEE/EIA 12207-0-1996 という IEEE/EIA (Electric Industries Alliance) の規格は、ISO/IEC 12207:1995 をベースにしたものであった。この IEEE の 12207.0-1996 は ISO の 1995 年版の規格をそのまま IEEE の規格として取り込んでいる。しかしそのすぐ後に作られた 12207.2-1997 にソフトウェアの再利用に関する記述を加え、1999 年には IEEE 1517-1999 という再利用の規格を作るなど、ISO の規格の一步先を歩んでいる。ISO の規格がソフトウェアの再利用を取り込んだのは、2002 年に発行された ISO/IEC 12207:1995 の修正票 1 によってである<sup>9</sup>。

さらに IEEE は、その規格を通してアメリカのソフトウェア業界の仕事の仕方を変えようとする試みを行っている。具体的には前述の IEEE 1517-1999 をベースに、ソフトウェアの再利用の進め方についてのテキストを発行している[MCCLURE01]。今のところ規格をベースにした啓蒙書はまだ少ないが、amazon.com で検索すると、IEEE は引き続きこのような本の発行を何冊か計画しているように見える。

一般に規格の制定は、最新の研究成果の発表から 10 年遅れているといわれる。しかしその規格すら、世間一般からはかなり進んでいるのが現状である。積極的に新しい研究成果を取り入れて規格の制定を進め、これを基に国内のソフトウェア開発組織を啓蒙しようとする IEEE のこのような活動は、高く評価することができる。さらにその基になる研究成果を着実に生み出しているアメリカという国の産と学の連携も、我々には見習うべきものがある。

IEEE の規格は勿論全部英語だが、個々の規格は IEEE の Standards Association のホームページ (<http://standards.ieee.org/>) からやはり有償で入手することができる。また一括してある時点での有効な全ての規格を CD-ROM に格納して販売することがある。IEEE の規格についての優れた書物も、IEEE から発行されている[MOO06]。

またごく最近の傾向だが、ISO と IEC の規格制定に IEEE も参画して、3 つの組織合同の規格の形で発行されるものが出てきた。ISO/IEC 12207:2008 がその例で、この規格の正式の名称は ISO/IEC 12207 IEEE Std 12207-2008 となっている。付 2 としてこの章末に添付し

<sup>8</sup> 日本規格協会への料金の支払いにはクレジットカードが使用でき、規格本体は pdf ファイルで、ダウンロード方式で受け取ることができる。

<sup>9</sup> ソフトウェアの再利用については、第 35 章で既に述べた。

た IEEE の規格に関わる表に、「ISO 等との共同」という欄がある。ここに○印があるものが、このような ISO や IEC との共同の規格である。これから、この形を取るものが多くなるものと考えられる。

### ソフトウェア工学に関わる JIS 規格

付 1 の「対応する JIS 規格」欄に JIS の規格コードがついているものは、ISO 規格を基に日本化された JIS 規格である。ソフトウェアの関係で、ISO 規格をベースにしない JIS だけの規格は存在しない。

付 1 を見ても分かるとおり、ソフトウェア工学の関係の ISO 規格の全てのものが JIS 規格として国内を対象に発行されているわけではない。あるレベルの判断で、国内に必要性があると判断されるものを選んで JIS 化されているように見える。ただこのような形で JIS 化された規格は、元の ISO 規格との間で「同等性」が確保される形で作られている。

全ての ISO 規格が JIS 化されるわけではないことに伴い、日本規格協会は英文の ISO 規格を日本語に翻訳し、英語・日本語対訳の形での印刷物を発行しているものがある。これはたいへんに有益と、私は評価している。

JIS の規格コードは ISO の規格コードと関連を持たない、つまり JIS には JIS としてのコード体系があって、ISO の規格コードとは関係なく JIS の規格コードがふられるという形になっていた。例えば ISO/IEC 12207:1995 という規格は JIS 化されて、JIS X 0160:1996 というコードがついていた。これは、かなり不便である。少なくとも私が JIS X 0160:1996 を読んでいるときは、JIS 規格を読んでいるというより、日本語で ISO/IEC 12207:1995 を読んでいるという意識が強い。この時この規格の中で他の ISO の規格を参照しているとすると、JIS 規格ではその ISO 規格のコードがそのまま記述されているのではなく、対応する JIS 規格のコードに変換されて記述されている。私の頭の中には相互の関連が入っていないので、これはたいへんに苦痛である。

IEEE は ISO/IEC 12207 をベースにした米国内の規格を作ったとき、IEEE の規格コードも 12207 にした。日本にも、これと同じ動きがある。以前 ISO 9000:1994 が JIS 化されたとき、JIS Z 9900 というコードがふられていた。この ISO 規格が ISO 9000:2000 に変わったとき、JIS の規格コードが JIS Q 9000:2000 に変わった。つまり ISO の規格コードと JIS の規格コードのある部分が共通になったわけである。私はこれを、高く評価する。そして可能な限りこの方針を踏襲していただきたいと願っている。

IEEE と比較すると、規格の制定や改訂に関わる日本規格協会の動きは重くて遅い。しかしそれは日本規格協会の責任というよりは、このバックにある日本のソフトウェア産業全体の責任であるように、私には思える。つまり日本国内でソフトウェア工学への関心が高まり、それが広く普及することが、日本規格協会などのこの領域での活動を活性化させるものと私は考えている。

JIS 規格と日本語に翻訳された ISO 規格は、前述の日本規格協会のホームページ (<http://www.jsa.or.jp/>) から、やはり有償で入手することができる。

### キーワード

国際規格、国内規格、国際業界規格、国内業界規格、国内／国際民間規格、実質標準、ISO、国際標準化機構、IEC、国際電気標準会議、標準化団体、JIS、日本工業規格、ANSI、アメ

リカ規格協会、BSI、英国規格協会、IEEE、品質マネジメントシステム、TR、技術報告書、日本規格協会

### 略語

ISO : International Organization for Standardization  
IEC : International Electrotechnical Commission  
ITU-TS : International Telecommunication Union - Telecommunication Standardization sector  
OSI : Open Systems Interconnection  
TCP/IP : Transmission Control Protocol/Internet Protocol  
JIS : Japanese Industrial Standard  
ANSI : American National Standard Institute  
BSI : British Standard Institute  
BS : British Standard  
OMG : Object Management Group  
UML : Unified Modeling Language  
CORBA : Common Object Request Broker Architecture  
IEEE : Institute of Electric and Electronic Engineers  
LAN : Local Area Network  
TR : Technical Report  
EIA : Electric Industries Alliance  
IETF : Internet Engineering Task Force

### 規格

IEEE 1517-1999、ISO/IEC 12207 IEEE Std 12207-2008

### 参考文献とリンク先

[MCCLURE01] Carma McClure, “Software Reuse: A Standards-Based Guide,” IEEE, 2001.  
[MOO06] James W. Moore, “The Road Nap to Software Engineering A Standards-Based Guide,” A John Wiley & Sons, 2006.

(2005 年 (平成 17 年) 7 月 23 日 初稿完了)  
(2007 年 (平成 19 年) 7 月 23 日 一部変更)  
(2008 年 (平成 20 年) 10 月 5 日 一部修正)  
(2009 年 (平成 21 年) 9 月 17 日 一部修正)  
(2011 年 (平成 23 年) 9 月 25 日 一部修正)  
(2016 年 (平成 28 年) 12 月 9 日 一部修正)

## 付1 ソフトウェアと品質マネジメントシステム、リスク管理に関わる ISO の規格

規格コード	規格名(日本語)	邦訳あり	対応するJIS規格
ISO Guide 73:2009	リスクマネジメント－用語		
ISO 3535:1977	形式設計シート及びレイアウトチャート		
ISO 5806:1984	情報処理－シングルヒット決定表		JIS X 0125:1986
ISO 5807:1985	情報処理－データ、プログラム及びシステムフローチャート、プログラムネットワークチャート並びにシステムリソースチャートのドキュメンテーション記号及び規則		JIS X 0121:1986
ISO/IEC 8211:1994	情報技術－情報交換用のデータ記述ファイルの仕様		
ISO/IEC 8631:1989	情報技術－コンピュータグラフィックス－表示のためのプログラム構造及び規則		
ISO 8790:1987	情報処理システム－コンピュータシステム構成図記号及び規則		JIS X 0127:1988
ISO 9000:2015	品質マネジメントシステム－基本及び用語	○	JIS Q 9000:2015
ISO 9001:2015	品質マネジメントシステム－要求事項	○	JIS Q 9001:2015
ISO/TS 9002:2016	品質マネジメントシステム－ISO 9001:2015適用の指針		
ISO 9004:2009	組織の持続的成功のための運営管理－品質マネジメントアプローチ	○	JIS Q 9004:2010
ISO 10001:2007	品質マネジメント－顧客満足－組織のための行動規範の指針		JIS Q 10001:2010
ISO 10002:2014	品質マネジメント－顧客満足－組織における苦情対応のための指針		JIS Q 10002:2015
ISO 10003:2007	品質マネジメント－顧客満足－組織外の紛争解決の指針		JIS Q 10003:2010
ISO 10004:2012	品質マネジメント－顧客満足－監視及び測定に関する指針		
ISO 10006:2003	品質マネジメントシステム－プロジェクトにおける品質マネジメントの指針	○	JIS Q 10006:2004
ISO 10007:2003	品質マネジメントシステム－構成管理の指針	○	
ISO 10008:2013	品質マネジメント－顧客満足－企業・消費者間電子商取引の指針		
ISO 10014:2006	品質マネジメント－財務的及び経済的便益を実現するための指針	○	
ISO 10015:1999	品質マネジメント－教育訓練の指針	○	
ISO 10018:2012	品質マネジメント－人々の参画及び力量の指針		
ISO/IEC 10746-1:1998	情報技術－開放型分散処理－基準モデル:概要		
ISO/IEC 10746-2:2009	情報技術－開放型分散処理－基準モデル:基礎		
ISO/IEC 10746-3:2009	情報技術－開放型分散処理－基準モデル:アーキテクチャ		
ISO/IEC 10746-4:1998	情報技術－開放型分散処理－基準モデル:アーキテクチャ意味論		
ISO/IEC 11411:1995	情報技術－ソフトウェアの状態遷移の人間通信の表現	○	JIS X 0131:1995
ISO/IEC TR 12182:2015	システム及びソフトウェア工学－ITシステム及びソフトウェアの類別の枠組み及びその適用の手引		
ISO/IEC 12207:2008	システム及びソフトウェア工学－ソフトウェアライフサイクルプロセス	○	JIS X 0160:2012
ISO/IEC 13235-1:1998	情報技術－開放型分散処理－取引機能:仕様		

ISO/IEC 13235-3:1998	情報技術－開放型分散処理－取引機能：第3部：OSIディレクトリサービスを使用する取引機能の提供		
ISO/IEC 13244:1998	情報技術－開放型分散管理アーキテクチャ		
ISO/IEC 13800:1996	情報技術－ボリューム及びファイル構造のための識別子及び属性の登録手順		
ISO/IEC 14102:2008	情報技術－CASEツールの評価及び選択の指針		
ISO/IEC 14143-1:2007	情報技術－ソフトウェア測定－機能規模測定－第1部：概念の定義		JIS X 0135-1:2010
ISO/IEC 14143-2:2011	情報技術－ソフトウェア測定－機能規模測定－第2部：ISO/IEC 14143-1のソフトウェア規模測定方法の適合性評価		
ISO/IEC TR 14143-3:2003	情報技術－ソフトウェア測定－機能規模測定－第3部：機能規模測定法の検証		JIS X 0135-3:2011
ISO/IEC TR 14143-4:2002	情報技術－ソフトウェア測定－機能規模測定－第4部：基準モデル		JIS X 0135-3:2011
ISO/IEC TR 14143-5:2004	情報技術－ソフトウェア測定－機能規模測定－第5部：機能規模測定と共に使用する機能領域の決定		JIS X 0135-3:2011
ISO/IEC 14143-6:2012	情報技術－ソフトウェア測定－機能規模測定－第6部：ISO/IEC 14143シリーズ及び関連国際規格の使用の手引		
ISO/IEC TR 14471:2007	情報技術－ソフトウェア工学－CASEツールの採用の指針		
ISO/IEC 14598-5:1998	情報技術－ソフトウェア製品評価－第5部：評価者のためのプロセス		JIS X 0133-5:1999
ISO/IEC 14598-6:2001	ソフトウェア工学－製品評価－第6部：評価モジュール文書		JIS X 0133-6:2002
ISO/IEC 14750:1999	情報技術－開放型分散処理－インタフェース定義言語		
ISO/IEC 14752:2000	情報技術－開放型分散処理－計算形対話のプロトコル支援		
ISO/IEC 14753:1999	情報技術－開放型分散処理－インタフェース参照及び結合		
ISO/IEC 14756:1999	情報技術－コンピュータ利用ソフトウェアシステムの性能の測定及び評定		JIS X 0136:2001
ISO/IEC 14764:2006	ソフトウェア工学－ソフトウェアライフサイクルプロセス－保守		JIS X 0161:2008
ISO/IEC 14769:2001	情報技術－開放型分散処理－型式レポジット関数		
ISO/IEC 14771:1999	情報技術－開放型分散処理－命名フレームワーク		
ISO/IEC 14834:1996	情報技術－分散トランザクション処理－XA仕様		
ISO/IEC 14863:1996	情報技術－システム独立データ書式(SIDF)		
ISO/IEC 15026-1:2013	システム及びソフトウェア工学－システム及びソフトウェア保証－第1部：概念及び用語		
ISO/IEC 15026-2:2011	システム及びソフトウェア工学－システム及びソフトウェア保証－第2部：保証ケース		JIS X 0134-2:2016
ISO/IEC 15026-3:2015	システム及びソフトウェア工学－システム及びソフトウェア保証－第3部：システム保全レベル		
ISO/IEC 15026-4:2012	システム及びソフトウェア工学－システム及びソフトウェア保証－第4部：ライフサイクルにおける保証		
ISO/IEC/IEEE 15288:2015	システム及びソフトウェア工学－システムライフサイクルプロセス		
ISO/IEC/IEEE 15289:2015	システム及びソフトウェア工学－ライフサイクル情報品目(文書)の内容		
ISO/IEC 15414:2015	情報技術－開放型分散処理－参照モデル－企業言語		
ISO/IEC 15437:2001	情報技術－LOTOSへの強化(E-LOTOS)		

ISO/IEC 15474-1:2002	情報技術－CDIFフレームワーク－第1部：概観		JIS X 0137-1:2003
ISO/IEC 15474-2:2002	情報技術－CDIFフレームワーク－第1部：モデル化及び拡張性		JIS X 0137-2:2003
ISO/IEC 15475-1:2002	情報技術－CDIF転送形式－第1部：構文及び符号化のため一般規則		JIS X 0138-1:2004
ISO/IEC 15475-2:2002	情報技術－CDIF転送形式－第2部：構文SYNTAX. 1		JIS X 0138-2:2004
ISO/IEC 15475-3:2002	情報技術－CDIF転送形式－第3部：符号化ENCODING. 1		JIS X 0138-3:2004
ISO/IEC 15476-1:2002	情報技術－CDIF意味論的メタモデル－第1部：基礎		
ISO/IEC 15476-2:2002	情報技術－CDIF意味論的メタモデル－第1部：共通		
ISO/IEC 15476-3:2006	情報技術－CDIF意味論的メタモデル－第3部：データ定義		
ISO/IEC 15476-4:2005	情報技術－CDIF意味論的メタモデル－第4部：データモデル		
ISO/IEC 15476-6:2006	情報技術－CDIF意味論的メタモデル－第6部：状態/事象モデル		
ISO/IEC 15504-3:2004	情報技術－プロセスアセスメント－第3部：アセスメント実施の手引	○	JIS X 0145-3:2011
ISO/IEC 15504-4:2004	情報技術－プロセスアセスメント－第4部：プロセス改善及びプロセス能力判定のための使用の指針	○	JIS X 0145-4:2010
ISO/IEC 15504-5:2012	情報技術－プロセスアセスメント－第5部：ソフトウェアライフサイクルプロセスアセスメントモデルの見本		
ISO/IEC 15504-6:2013	情報技術－プロセスアセスメント－第6部：見本システムライフサイクルプロセスアセスメントモデル		
ISO/IEC TS 15504-8:2012	情報技術－プロセスアセスメント－第8部：ITサービスマネジメントのための模範プロセスアセスメントモデル		
ISO/IEC TS 15504-9:2011	情報技術－プロセスアセスメント－第9部：ターゲットプロセスプロファイル		
ISO/IEC TS 15504-10:2011	情報技術－プロセスアセスメント－第10部：安全性拡張		
ISO/IEC 15909-1:2004	ソフトウェア及びシステム工学－高レベルベトリネット－第1部：概念、定義及びグラフ式表記		
ISO/IEC 15909-2:2011	システム及びソフトウェア工学－高レベルベトリネット－第2部：トランスファフォーマット		
ISO/IEC 15939:2007	システム及びソフトウェア工学－計測プロセス		JIS X 0141:2009
ISO/IEC 15940:2013	システム及びソフトウェア工学－ソフトウェア工学環境サービス		
ISO/IEC 16085:2006	システム及びソフトウェア工学－ライフサイクルプロセス－リスクマネジメント		JIS X 0162:2008
ISO/IEC/IEEE 16326:2009	システム及びソフトウェア工学－ライフサイクルプロセス－プロジェクトマネジメント		
ISO/IEC 16350:2015	情報技術－システム及びソフトウェア工学－アプリケーションマネジメント		
ISO/IEC 17998:2012	情報技術－SOAガバナンスフレームワーク		
ISO/IEC TR 18018:2010	情報技術－システム及びソフトウェア工学－構成管理ツール機能の手引		
ISO 19011:2011	マネジメントシステム監査のための指針	○	JIS Q 19011:2012
ISO/IEC 19500-1:2012	情報技術－オブジェクトマネジメントグループ－共通オブジェクトリクエストブローカーアーキテクチャ (CORBA)－第1部：インタフェース		
ISO/IEC 19500-2:2012	情報技術－オブジェクトマネジメントグループ－共通オブジェクトリクエストブローカーアーキテクチャ (CORBA)－第2部：相互運用性		
ISO/IEC 19500-3:2012	情報技術－オブジェクトマネジメントグループ－共通オブジェクトリクエストブローカーアーキテクチャ (CORBA)－第3部：コンポーネント		



ISO/IEC 19501:2005	情報技術－解法分散処理－統一モデル言語(UML)バージョン1.4.2		JIS X 4170:2009
ISO/IEC 19505-1:2012	情報技術－オブジェクトマネジメントグループユニファイドモデリング言語(OMG UML)－第1部:インフラストラクチャ		
ISO/IEC 19505-2:2012	情報技術－オブジェクトマネジメントグループユニファイドモデリング言語(OMG UML)－第2部:スーパーストラクチャ		
ISO/IEC 19506:2012	情報技術－オブジェクトマネジメントグループアーキテクチャ駆動モダニゼーション(ADM)－ナレッジディスカバリメタモデル(KDM)		
ISO/IEC 19678:2015	情報技術－BIOS保護の指針		
ISO/IEC TR 19759:2015	ソフトウェア工学－ソフトウェア工学基礎知識体系(SWEBOK)		
ISO/IEC 19761:2011	ソフトウェア工学－COSMIC－機能的サイズ計測法		JIS X 0143:2013
ISO/IEC 19770-1:2012	情報技術－ソフトウェア資産管理－第1部:プロセス及び段階的適合性評価	○	
ISO/IEC 19770-2:2015	情報技術－ソフトウェア資産管理－第2部:ソフトウェア識別タグ		
ISO/IEC 19770-3:2016	情報技術－IT資産管理－第3部:エンタイトルメントスキーマ		
ISO/IEC 19770-5:2015	情報技術－IT資産管理－概要及び用語		
ISO/IEC 19793:2015	情報技術－開放分散型処理－ODPシステム仕様のためのUMLの使用		
ISO/IEC 20926:2009	ソフトウェア及びシステム工学－ソフトウェア測定－IFPUG機能サイズ測定法2009		
ISO/IEC 20968:2002	ソフトウェア工学－Mk II機能ポイント分析－計数実務マニュアル		
ISO/IEC/IEEE 23026:2015	システム及びソフトウェア工学－システム、ソフトウェア及びサービス情報のウェブサイト工学及びマネジメント		
ISO/IEC 23360-1:2006	リナックス標準ベース(LSB)コア仕様3.1－第1部:共通仕様		
ISO/IEC 23360-2:2006	リナックス標準ベース(LSB)コア仕様3.1－第2部:IA32アーキテクチャの仕様		
ISO/IEC 23360-3:2006	リナックス標準ベース(LSB)コア仕様3.1－第3部:IA64アーキテクチャの仕様		
ISO/IEC 23360-4:2006	リナックス標準ベース(LSB)コア仕様3.1－第4部:AMD64アーキテクチャの仕様		
ISO/IEC 23360-5:2006	リナックス標準ベース(LSB)コア仕様3.1－第5部:PPC32アーキテクチャの仕様		
ISO/IEC 23360-6:2006	リナックス標準ベース(LSB)コア仕様3.1－第6部:PPC64アーキテクチャの仕様		
ISO/IEC 23360-7:2006	リナックス標準ベース(LSB)コア仕様3.1－第7部:S390アーキテクチャの仕様		
ISO/IEC 23360-8:2006	リナックス標準ベース(LSB)コア仕様3.1－第8部:S390Xアーキテクチャの仕様		
ISO/IEC 24570:2005	ソフトウェア工学－NESMA機能サイズ測定法バージョン2.1－定義及び機能ポイント分析の適用のための計数指針		
ISO/IEC 24744:2014	ソフトウェア工学－開発方法論のためのメタモデル		
ISO/IEC TS 24748-1:2016	システム及びソフトウェア工学－ライフサイクルマネジメント－第1部:ライフサイクルマネジメントの指針		
ISO/IEC TR 24748-2:2011	システム及びソフトウェア工学－ライフサイクルマネジメント－第2部:ISO/IEC 15288(システムライフサイクルプロセス)の適用の手引		
ISO/IEC TR 24748-3:2011	システム及びソフトウェア工学－ライフサイクルマネジメント－第3部:ISO/IEC 12207(ソフトウェアライフサイクルプロセス)の適用の手引		

ISO/IEC/IEEE 24748-4:2016	システム及びソフトウェア工学—ライフサイクルマネジメント—第4部:システム工学プランニング		
ISO/IEC TS 24748-6:2016	システム及びソフトウェア工学—ライフサイクルマネジメント—第6部:システムインテグレーション工学		
ISO/IEC/IEEE 24765:2010	システム及びソフトウェア工学—用語		
ISO/IEC TR 24766:2009	情報技術—システム及びソフトウェア工学—要求事項工学ツール能力の手引		
ISO/IEC 24773:2008	ソフトウェア工学—ソフトウェア工学専門家の認証—比較の枠組み		
ISO/IEC TR 24774:2010	ソフトウェア及びシステム工学—ライフサイクルマネジメント—プロセス記述の指針		
ISO/IEC 25000:2014	システム及びソフトウェア工学—システム及びソフトウェア品質要求事項及び評価(SQuaRE)—SQuaREの手引		
ISO/IEC 25001:2014	システム及びソフトウェア工学—システム及びソフトウェア品質要求事項及び評価(SQuaRE)—計画及び管理		
ISO/IEC 25010:2011	システム及びソフトウェア工学—システム及びソフトウェア品質要求事項及び評価(SQuaRE)—システム及びソフトウェア品質モデル		JIS X 25010:2013
ISO/IEC 25012:2008	ソフトウェア工学—ソフトウェア製品品質要求事項及び評価(SQuaRE)—データ品質モデル		JIS X 25012:2013
ISO/IEC 25020:2007	ソフトウェア工学—ソフトウェア製品品質要求事項及び評価(SQuaRE)—測定基準モデル及びガイド	○	
ISO/IEC 25021:2012	システム及びソフトウェア工学—システム及びソフトウェア品質要求事項及び評価(SQuaRE)—品質尺度要素		JIS X 25021:2014
ISO/IEC 25022:2016	システム及びソフトウェア工学—システム及びソフトウェア品質要求事項及び評価(SQuaRE)—使用中の品質の測定		
ISO/IEC 25023:2016	システム及びソフトウェア工学—システム及びソフトウェア品質要求事項及び評価(SQuaRE)—システム及びソフトウェア製品品質の測定		
ISO/IEC 25024:2015	システム及びソフトウェア工学—システム及びソフトウェア品質要求事項及び評価(SQuaRE)—データ品質の測定		
ISO/IEC 25030:2007	ソフトウェア工学—ソフトウェア製品品質要求事項及び評価(SQuaRE)—品質要求事項	○	JIS X 25030:2012
ISO/IEC 25040:2011	システム及びソフトウェア工学—システム及びソフトウェア品質要求事項及び評価(SQuaRE)—評価プロセス		JIS X 25040:2014
ISO/IEC 25041:2012	システム及びソフトウェア工学—システム及びソフトウェア品質の要求事項及び評価(SQuaRE)—開発者, 取得者及び独立の評価者のための評価の手引		JIS X 25041:2015
ISO/IEC 25045:2010	システム及びソフトウェア工学—システム及びソフトウェア品質要求事項及び評価(SQuaRE)—復元可能性のための評価モジュール		
ISO/IEC 25051:2014	ソフトウェア工学—システム及びソフトウェア品質要求事項及び評価(SQuaRE)—既成ソフトウェア製品(RUSP)の品質の要求事項及び試験の指示		JIS X 25051:2016
ISO/IEC TR 25060:2010	システム及びソフトウェア工学—システム及びソフトウェア製品品質要求事項及び評価(SQuaRE)—ユーザビリティのための共通産業フォーマット(CIF): ユーザビリティ関連情報のための一般的枠組み		

ISO/IEC 25062:2006	ソフトウェア工学—ソフトウェア製品品質要求事項及び評価(SQuaRE)—有用性能試験報告書のための共通産業フォーマット(CIF)		
ISO/IEC 25063:2014	システム及びソフトウェア工学—システム及びソフトウェア製品品質要求事項及び評価(SQuaRE)—ユーザビリティのための共通産業フォーマット(CIF): 使用記述の文脈		
ISO/IEC 25064:2013	システム及びソフトウェア工学—ソフトウェア製品の品質要求事項及び評価(SQuaRE)—使いやすさのための一般産業フォーマット(CIF): ユーザニーズ報告		
ISO/IEC 25066:2016	システム及びソフトウェア工学—システム及びソフトウェア品質要求事項及び評価(SQuaRE)—ユーザビリティのための共通産業フォーマット(CIF)—評価報告		
ISO/IEC/IEEE 26511:2011	システム及びソフトウェア工学—ユーザドキュメンテーションの管理者に対する要求事項		
ISO/IEC/IEEE 26512:2011	システム及びソフトウェア工学—ユーザ文書の取得者及び供給者の要求事項		
ISO/IEC 26513:2009	システム及びソフトウェア工学—ユーザドキュメンテーションの試験者及び校閲者に対する要求事項		
ISO/IEC 26514:2008	システム及びソフトウェア工学—ユーザドキュメンテーションの設計者及び開発者に対する要求事項		JIS X 0153:2015
ISO/IEC/IEEE 26515:2011	システム及びソフトウェア工学—アジャイル環境におけるユーザドキュメンテーションの開発		
ISO/IEC/IEEE 26531:2015	システム及びソフトウェア工学—製品ライフサイクル, ユーザ及びサービスマネジメント文書の内容管理		
ISO/IEC 26550:2015	システム及びソフトウェア工学—製品ライン工学及びマネジメントのための基準モデル		
ISO/IEC 26551:2016	ソフトウェア及びシステム工学—製品ライン要求事項工学のツール及び方法		
ISO/IEC 26555:2015	システム及びソフトウェア工学—製品ラインの技術的マネジメントのためのツール及び方法		
ISO/IEC TR 29110-1:2016	システム及びソフトウェア工学—零細団体(VSE)のためのライフサイクルプロファイル—第1部: 概要		
ISO/IEC 29110-2-1:2015	ソフトウェア工学—零細団体(VSE)のためのライフサイクルプロファイル—第2-1部: フレームワーク及び分類		
ISO/IEC TR 29110-2-2:2016	システム及びソフトウェア工学—零細団体(VSE)のためのライフサイクルプロファイル—第2-2部: 部門固有プロファイルの開発の手引		
ISO/IEC TR 29110-3-1:2015	システム及びソフトウェア工学—零細団体(VSE)のためのライフサイクルプロファイル—第3-1部: アセスメントガイド		
ISO/IEC 29110-3-3:2016	システム及びソフトウェア工学—零細企業(VSE)のためのライフサイクルプロファイル—第3-3部: プロセス評価及び成熟度モデルによるVSEプロファイルの適合性評価のための認証要求事項		
ISO/IEC TR 29110-3-4:2015	システム及びソフトウェア工学—零細団体(VSE)のためのライフサイクルプロファイル—第3-4部: 自律的な改善方法		
ISO/IEC 29110-4-1:2011	ソフトウェア工学—零細団体(VSE)のためのライフサイクルプロファイル—第4-1部: プロファイル仕様: 一般プロファイルグループ		

ISO/IEC TR 29110-5-1-1:2012	ソフトウェア工学－零細団体(VSE)のためのライフサイクルプロファイル－第5-1-1部: マネジメント及びエンジニアリングの手引: 総合プロファイルグループ: エントリープロファイル		
ISO/IEC TR 29110-5-1-2:2011	ソフトウェア工学－零細団体(VSE)のためのライフサイクルプロファイル－第5-1-2部: マネジメント及びエンジニアリングの手引: 総合プロファイルグループ: 基本プロファイル		
ISO/IEC TR 29110-5-2-1:2016	システム及びソフトウェア工学－零細団体(VSE)のためのライフサイクルプロファイル－第5-2-1部: 組織経営管理の指針		
ISO/IEC TR 29110-5-6-1:2015	システム及びソフトウェア工学－零細団体(VSE)のためのライフサイクルプロファイル－第5-6-1部: システム工学－マネジメント及びエンジニアリングの手引: 総合プロファイルグループ: エントリープロファイル		
ISO/IEC TR 29110-5-6-2:2014	システム及びソフトウェア工学－零細団体(VSE)のためのライフサイクルプロファイル－第5-6-2部: システム工学－マネジメント及びエンジニアリングの手引: 総合プロファイルグループ: 基本プロファイル		
ISO/IEC/IEEE 29119-1:2013	システム及びソフトウェア工学－ソフトウェア試験－第1部: 概念及び定義		
ISO/IEC/IEEE 29119-2:2013	システム及びソフトウェア工学－ソフトウェア試験－第2部: 試験プロセス		
ISO/IEC/IEEE 29119-3:2013	システム及びソフトウェア工学－ソフトウェア試験－第3部: 試験文書類		
ISO/IEC/IEEE 29119-4:2015	システム及びソフトウェア工学－ソフトウェア試験－第4部: 試験技法		
ISO/IEC/IEEE 29119-5:2016	システム及びソフトウェア工学－ソフトウェア試験－第5部: キーワード駆動試験		
ISO/IEC/IEEE 29148:2011	システム及びソフトウェア工学－ライフサイクルプロセス－要求事項エンジニアリング		JIS X 0166:2014
ISO/IEC TR 29154:2013	ソフトウェア工学－ISO/IEC 24773:2008 (ソフトウェア工学専門家の認証－比較の枠組み)の適用の手引		
ISO/IEC 29155-1:2011	システム及びソフトウェア工学－情報技術プロジェクトパフォーマンスベンチマークの枠組み－第1部: 概念及び定義		
ISO/IEC 29155-2:2013	システム及びソフトウェア工学－情報技術プロジェクトパフォーマンスベンチマークの枠組み－第2部: ベンチマーキングの要求事項		
ISO/IEC 29155-3:2015	システム及びソフトウェア工学－情報技術プロジェクトパフォーマンスベンチマークの枠組み－第3部: 報告の手引		
ISO/IEC 29155-4:2016	システム及びソフトウェア工学－情報技術プロジェクトパフォーマンスベンチマークの枠組み－第4部: データ収集及び保守の手引		
ISO/IEC 29168-1:2011	情報技術－開放型システム間相互接続－第1部: オブジェクト識別子解決システム		
ISO/IEC 29168-2:2011	情報技術－開放型システム間相互接続－第2部: オブジェクト識別子解決システム運用機関のための手順		
ISO/IEC 29169:2016	情報技術－プロセスアセスメント－プロセス品質特性及び組織の成熟度を評価するための適合性評価方法論の適用		
ISO/IEC 29881:2010	情報技術－システム及びソフトウェア工学－FISMA1.1機能サイズ測定方法		
ISO/IEC TS 30103:2015	ソフトウェア及びシステム工学－ライフサイクルプロセス－製品品質保証の枠組み		

ISO/IEC 30105-1:2016	情報技術－ITイネーブルサービス・ビジネスプロセスアウトソーシング(ITES-BPO)ライフサイクルプロセス－第1部: プロセス参照モデル(PRM)		
ISO/IEC 30105-2:2016	情報技術－ITイネーブルサービス・ビジネスプロセスアウトソーシング(ITES-BPO)ライフサイクルプロセス－第2部: プロセス評価モデル(PAM)		
ISO/IEC 30105-3:2016	情報技術－ITイネーブルサービス・ビジネスプロセスアウトソーシング(ITES-BPO)ライフサイクルプロセス－第3部: 測定の枠組み(MF)及び組織の成熟度モデル(OMM)		
ISO/IEC 30105-4:2016	情報技術－ITイネーブルサービス・ビジネスプロセスアウトソーシング(ITES-BPO)ライフサイクルプロセス－第4部: 用語及び概念		
ISO/IEC 30105-5:2016	情報技術－ITイネーブルサービス・ビジネスプロセスアウトソーシング(ITES-BPO)ライフサイクルプロセス－第5部: 指針		
ISO/IEC 30121:2015	情報技術－電子情報科学捜査のリスク枠組みのガバナンス		
ISO/IEC 30130:2016	ソフトウェア工学－ソフトウェア試験ツールの能力		
ISO 31000:2009	リスクマネジメント－原則及び指針	○	JIS Q 31000:2010
IEC 31010:2009	リスクマネジメント－リスクアセスメント技法	○	JIS Q 31010:2012
ISO/IEC/IEEE 31320-1:2012	情報技術－モデリング言語－第1部: IDEF0のシンタックス及びセマンティックス		
ISO/IEC/IEEE 31320-2:2012	情報技術－モデリング言語－第2部: IDEF1X97 (IDEFObject)のシンタックス及びセマンティックス		
ISO/IEC 33001:2015	情報技術－プロセスアセスメント－概念及び用語		
ISO/IEC 33002:2015	情報技術－プロセスアセスメント－プロセスアセスメント実施の要求事項		
ISO/IEC 33003:2015	情報技術－プロセスアセスメント－プロセス計測の枠組みの要求事項		
ISO/IEC 33004:2015	情報技術－プロセスアセスメント－プロセスリファレンス、プロセスアセスメント及び成熟度モデルの要求事項		
ISO/IEC TR 33014:2013	情報技術－プロセスアセスメント－プロセス改善の手引		
ISO/IEC 33020:2015	情報技術－プロセスアセスメント－プロセス能力のアセスメントのためのプロセス計測の枠組み		
ISO/IEC TS 33052:2016	情報技術－情報セキュリティマネジメントのためのプロセス参照モデル(PRM)		
ISO/IEC 33063:2015	情報技術－プロセス評価－ソフトウェア試験のためのプロセス評価モデル		
ISO/IEC TS 33072:2016	情報技術－プロセスアセスメント－情報セキュリティマネジメントのプロセスケーパビリティアセスメントモデル		
ISO/IEC 40210:2011	情報技術－W3C SOAPバージョン1.2: 第1部: メッセージングフレームワーク(第2版)		
ISO/IEC 40220:2011	情報技術－W3C SOAPバージョン1.2: 第2部: 付属物(第2版)		
ISO/IEC 40230:2011	情報技術－W3C SOAPメッセージ伝達最善化メカニズム		
ISO/IEC 40240:2011	情報技術－W3Cウェブサービスアドレス指定1.0－コア		
ISO/IEC 40250:2011	情報技術－W3Cウェブサービスアドレス指定1.0－SOAPバインディング		
ISO/IEC 40260:2011	情報技術－W3Cウェブサービスアドレス指定1.0－メタデータ		
ISO/IEC 40270:2011	情報技術－W3Cウェブサービスポリシー1.5－フレームワーク		

ISO/IEC 40280:2011	情報技術－W3Cウェブサービスポリシー1.5－アタッチメント		
ISO/IEC 40500:2012	情報技術－W3Cウェブコンテンツアクセシビリティの指針(WCAG) 2.0		JIS X 8341-3:2016
ISO/IEC/IEEE 42010:2011	システム及びソフトウェア工学－アーキテクチャ記述		
ISO/IEC 90003:2014	ソフトウェア工学－コンピュータソフトウェアへのISO9001:2008の適用の指針		
ISO/IEC TR 90005:2008	システム工学－システムライフサイクルプロセスへのISO 9001の適用の指針		

(2016年(平成28年)12月8日現在)

([http://www.iso.org/iso/iso\\_catalogue/catalogue\\_ics.htm](http://www.iso.org/iso/iso_catalogue/catalogue_ics.htm) 及び <http://www.webstore.jisa.or.jp/webstore/ISO/Search.jsp?lang=jp> より)

## 付 2 ソフトウェア工学に関わる IEEE の規格

規格コード	標 題	ISO等と共通
IEEE Std 730-2014	IEEE Standard for Software Quality Assurance Processes	
IEEE Std 828-2012	IEEE Standard for Configuration Management in Systems and Software Engineering	
IEEE Std 982.1-2005	IEEE Standard Dictionary of Measures of the Software Aspects of Dependability	
IEEE Std 1012-2012	IEEE Standard for System and Software Verification and Validation	
IEEE Std 1016-2009	IEEE Standard for Information Technology--Systems Design--Software Design Descriptions	
IEEE Std 1044-2009	IEEE Standard Classification for Software Anomalies	
IEEE Std 1061-1998	IEEE Standard for a Software Quality Metrics Methodology	
IEEE Std 1062-2015	IEEE Recommended Practice for Software Acquisition	
IEEE Std 1175.1-2002	IEEE Guide for CASE Tool Interconnections - Classification and Description	
IEEE Std 1175.2-2006	IEEE Recommended Practice for CASE Tool Interconnection - Characterization of Interconnections	
IEEE Std 1175.3-2004	IEEE Standard for CASE Tool Interconnections - Reference Model for Specifying Software Behavior	
IEEE Std 1175.4-2008	IEEE Standard for CASE Tool Interconnections--Reference Model for Specifying System Behavior	
IEEE Std 1228-1994	IEEE Standard for Software Safety Plans	
IEEE Std 1517-2010	IEEE Standard for Information Technology--System and Software Life Cycle Processes--Reuse Processes	
IEEE Std 12207-2008	Systems and software engineering -- Software life cycle processes	○
IEEE Std 1320.1-1998	IEEE Standard for Functional Modeling Language - Syntax and Semantics for IDEF0	
IEEE Std 1320.2-1998	IEEE Standard for Conceptual Modeling Language - Syntax and Semantics for IDEF1X97 (IDEFObject)	
IEEE Std 14102-2010	Guideline for the Evaluation and Selection of CASE Tools	○
IEEE Std 14471-2010	Software Engineering -- Guidelines for the Adoption of CASE Tools	○
IEEE Std 14764-2006	Software Life Cycle Processes - Maintenance	○
IEEE Std 15026-1-2014	Systems and Software Engineering--Systems and Software Assurance--Part 1: Concepts and Vocabulary	○
IEEE Std 15026-2-2011	Systems and Software Engineering--Systems and Software Assurance--Part 2: Assurance Case	○
IEEE Std 15026-3-2013	Systems and Software Engineering--Systems and Software Assurance--Part 3: System Integrity Levels	○
IEEE Std 15026-4-2013	Systems and Software Engineering--Systems and Software Assurance--Part 4: Assurance in the Life Cycle	○
IEEE Std 15288-2015	Systems and software engineering - - System life cycle processes	○
IEEE Std 15288.1-2014	IEEE Standard for Application of Systems Engineering on Defense Programs	
IEEE Std 15288.2-2014	IEEE Standard for Technical Reviews and Audits on Defense Programs	
IEEE Std 15289-2015	Systems and software engineering -- Content of life-cycle information items (documentation)	○
IEEE Std 15939-2008	Systems and Software Engineering--Measurement Process	○
IEEE Std 16085-2006	Standard for Software Engineering - Software Life Cycle Processes - Risk Management	○
IEEE Std 16326-2009	Systems and Software Engineering-- Life Cycle Processes--Project Management	
IEEE Std 20000-1-2013	Information technology -- Service management -- Part 1: Service management system requirements	○

規格コード	標 題	ISO等と共通
IEEE Std 20000-2-2013	Information technology -- Service management -- Part 2: Guidance on the application of service management systems	○
IEEE Std 23026-2015	Systems and software engineering - Engineering and management of websites for systems, software, and services information	○
IEEE Std 24748-1-2011	Systems and Software Engineering--Life Cycle Management--Part 1: Guide for Life Cycle Management	○
IEEE Std 24748-2-2012	Systems and Software Engineering--Life Cycle Management--Part 2: Guide to the Application of ISO/IEC 15288 (System Life Cycle Processes)	○
IEEE Std 24748-3-2012	Systems and software engineering -- Life cycle management -- Part 3: Guide to the application of ISO/IEC 12207 (Software life cycle processes)	○
IEEE Std 24748-4-2016	Systems and Software Engineering--Life Cycle Management--Part 4: Systems Engineering Planning	○
IEEE Std 24765-2010	Systems and software engineering -- Vocabulary	○
IEEE Std 24774-2012	Systems and Software Engineering-- Life Cycle Management--Guidelines for Process Description	○
IEEE Std 26511-2012	Systems and software engineering -- Requirements for managers of user documentation	
IEEE Std 26512-2011	Systems and software engineering -- Requirements for acquirers and suppliers of user documentation	○
IEEE Std 26513-2010	Systems and Software Engineering--Requirements for Testers and Reviewers of Documentation	○
IEEE Std 26514-2010	Systems and Software Engineering--Requirements for Designers and Developers of User Documentation	○
IEEE Std 26515-2012	Systems and software engineering -- Developing user documentation in an agile environment	
IEEE Std 26531-2015	Systems and software engineering -- Content management for product life-cycle, user, and service management documentation	○
IEEE Std 29119-1-2013	Software and systems engineering Software testing Part 1:Concepts and definitions	○
IEEE Std 29119-2-2013	Software and systems engineering Software testing Part 2:Test processes	○
IEEE Std 29119-3-2013	Software and systems engineering Software testing Part 3:Test documentation	○
IEEE Std 29119-4-2015	Software and systems engineering--Software testing--Part 4: Test techniques	○
IEEE Std 29119-5-2016	Software and systems engineering--Software testing--Part 5: Keyword-Driven Testing	○
IEEE Std 29148-2011	Systems and software engineering--Life cycle processes--Requirements engineering	○
IEEE Std 31320-1-2012	Information technology -- Modeling Languages -- Part 1: Syntax and Semantics for IDEF0	○
IEEE Std 31320-2-2012	Information technology -- Modeling Languages -- Part 2: Syntax and Semantics for IDEF1X97 (IDEFobject)	○
IEEE Std 42010-2011	Systems and software engineering -- Architecture description	○
IEEE Std 90003-2015	Software Engineering -- Guidelines for the Application of ISO 9001:2008 to Computer Software	○

(2016年(平成28年)12月9日現在)

(http://standards.ieee.org/cgi-bin/status?Computer%20Society/Software より)